



学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。評価いただいた内容については学校全体で真摯に受け止め、学校発展のための努力を重ねてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

群馬県立藤岡北高等学校 学校評価一覧表 ② (平成29年度版)

(様式2)

羅 針 盤			達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①地域との交流や地域への貢献を目的とした活動や行事等に生徒の80%以上が満足している。	A	A	A	多くの生徒が主体的に参加し、成果をあげている。また、地域や保護者からも高い評価を得ている。 意見発表優秀賞、パティシエ甲子園優勝、国際バラとガーデニングショウ・フラワーアレンジコンテスト入賞など、日頃の学習の成果が現れた。	・地域貢献、地元の小中学校との連携などが教育活動に位置づけられていることが素晴らしい。 ・外部と触れ合うことでコミュニケーション能力が向上していると感じる。 ・生徒・職員の負担増には配慮しながらも、達成感・満足感のある取り組みを継続して欲しい。	数多くの活動を実施しているが、目的をしっかりと意識させるとともに、内容の精選を図りたい。 各専門部の継続的な活動を実践するとともに、研究活動の意義を認識させる。
		②県農業クラブ連盟各種発表会・各種競技大会や各種のコンクールなどで3種目以上入賞する。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①「授業が分かりやすい」と70%の生徒が答えている。	A	A	A	職員研修をとおして、授業改善や教材研究に取り組み、生徒が分かりやすいと実感できる授業展開を実践することができた。 教材の精選、確認テストの実施により、基礎学力の向上を実感できた生徒が増加した。	・学習に意欲的に取り組んでいる生徒の比率が高いことは素晴らしい。また、実習や授業がわからないと答えた生徒が少ないのは職員の努力の成果である。 ・朝学習の改善について引き続き検討していくことが大切である。	生徒の実態にあった教材の選定、授業展開を検討するとともに定期試験や小テストにおいて、学習の成果を実感し、意欲的な学習に取り組む態度を育成する。 「朝学習の時間」の目的を明確にし、学び直しや基礎学力の定着が進路実現に重要であることを認識させる。
		②「朝学習の時間」により基礎学力が向上したと実感する生徒が70%以上である。	A	A	A			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	①各種資格・検定を受検した生徒が80%以上である。	B	B	B	各教科やコース学習、進路学習等で生徒に資格取得の重要性を伝えたが、より積極的な取り組みに課題がある。 生徒が参加していると実感できる授業や授業中の生徒指導の充実を図り、生徒が意欲的に学習に取り組む授業展開に努めた。	・資格取得などを通して、生徒たちは自信をつけていると感じる。 ・コースに関係なく、どの資格も取得可能となるような体制づくりについて検討をお願いしたい。	「自分の生き方と将来の職業」を考えるうえで、資格を取得することがより具体的なビジョンの創造に繋がることを理解させ、積極的に資格取得や検定にチャレンジする態度を育てる。 協働学習や地域交流活動等とおして、学びを実感するとともに学習成果により自己有用感を高めることができる授業を実践する。
②意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が70%以上である。	A	A	A					
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に2回以上実施している。	A	A	A	職員会議において、生徒の情報交換を月一回、学年会議などでも情報交換の機会ができた。小さなことでも報告し合える環境にするために、情報交換の機会を増やすことができた。 スクールカウンセラーの認知度は上昇しているが、利用件数は少ない。カウンセリングの呼びかけを継続したい。相談体制も再点検し、悩みの早期発見・早期対応を今後も目指す。 本校生徒が中心となり、地区いじめ防止フォーラムを運営することができた。生活アンケートの結果を踏まえ、面談週間を実施した。さらなる生徒個々の状況把握を心がけたい。	・職員間で定期的な情報交換を行い、生徒のトラブルに適切に対応している。 ・スクールカウンセラーの利用件数が少ないが、認知度が上昇していることを考えると、良い傾向にある。 ・生徒が企画運営したフォーラムの実現は素晴らしい成果である。 ・いじめ防止・解消に向けた取り組みが高評価である。今後も、それらの取り組みを継続して欲しい。	さらにきめ細やかな指導や組織的な指導を目指して授業担当との情報交換を充実させ組織的・継続的な指導体制を構築したい。 「教育相談どより」や連絡メールなどで情報発信を行い、教育相談体制を周知する。併せて、スクールカウンセラーの利用を促す。 アンケートの内容を検討し、きめ細やかな生徒の把握から迅速な対応が今後も重要である。さらなる効果的な体制を目指し、いじめ防止活動を実践する。
		②教育相談体制やスクールカウンセラーの活用等に、生徒の70%が満足している。	B	B	B			
		③いじめの未然防止に努め、いじめ解消率が100%である。	A	A	A			
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	①1日の平均遅刻者数が3名以下である。	A	B	B	遅刻・欠席者それぞれの原因を究明し、個々に適した指導を行う。保護者との連携を強化し、家庭での生活習慣の改善と学校での意欲的な取り組みにつながる環境作りに引き続き努めた。	・それぞれの生徒・家庭に合わせたきめ細やかな指導を継続して欲しい。 ・進路実現に向けて、遅刻・欠席を減らすことが重要であることを生徒に理解させることも大切である。	遅刻・欠席指導を全職員が、様々な場面・方法で実施することで改善に努める。進路指導と関連させ、意識の向上に努める。
		②欠席率が2.3%以下である。	B	C	C			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導	6 計画的な指導を行っていますか。	①学校から提供される進路情報や進路関係行事等が進路を考えるうえで役立っていると評価する生徒が70%以上である。	A	A	A	外部機関との連携や進路業者等を利用することによって進路指導の充実を図ることができた。また、進路の流れについて、例年より早く説明したことで、進路に応じた情報提供を個別に行う機会を増やすことができた。	・進路についての情報提供が効果的に行われていることが、成果に繋がっている。 ・進路実現に向けた取り組みについて、保護者の評価が低い。家庭への働きかけの検討が必要である。 ・将来の目的がはっきりしている生徒は少ないと思う。だからこそ、将来について考えさせる機会や場面を設定することは今後も重要である。	各種機関との連携によって得た情報を職員間で共有する方法を工夫し、生徒・保護者に多くの情報を提供するとともに、キャリア教育の視点に立ってガイダンス機能を強化する。 ガイダンスや進路行事のあり方について検討し、進路意識の向上を図る。引き続き、個別の生徒の事情や適性に応じた進路指導を実践する。
		②LHR等で10時間以上進路学習を行っている。	A	A	A			
	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	①自己の生き方と将来の職業の関連について考えている生徒が70%以上である。	B	B	B	1・2年生向けの適性理解のためのガイダンスや進路講話等を行うことはできたが、進路意識の向上には課題が残っている。		
		②目標とした進路を実現できた生徒(3年生)が90%以上である。	-	A	A			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭・地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①PTA総会、学年保護者会等に参加している保護者が、60%以上である。	B	B	B	PTA総会や学年保護者会への参加を様々な方法で促したが、参加率は昨年をやや下回った。 Webページや連絡メールの活用により、多くの保護者が本校の取り組みを高く評価している。	・PTA総会や保護者会の参加率向上に向けた方策について引き続き検討して欲しい。 ・学校は様々な形で情報発信に努めている。しかし、生徒、保護者の評価が低い。内容の充実とともに、PTA活動の場面などを通してPRしていくことも必要である。	学校評価アンケートをもとにPTA役員、学年委員と情報交換し、保護者が参加しやすい内容等を検討する。 今後もWebページ、連絡メール、マスタイア等を積極的に活用し、継続的に情報発信を進める。
		②「学校の様子がよく分かる」と評価する保護者が70%以上である。	A	A	A			

